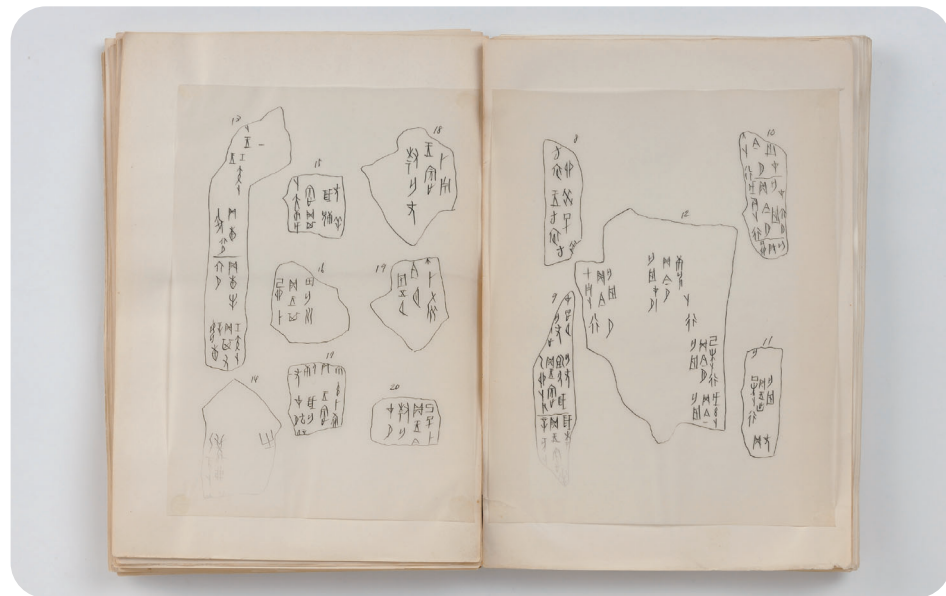


白川静記念 東洋文字文化研究所

The Shirakawa Shizuka Institute of East Asian Characters and Culture



東アジアにおける東洋文字文化研究の中核拠点として 研究・教育を推進し、「白川文字学」を世界に発信する

白川静記念東洋文字文化研究所は、東洋の文字文化を中心に顕著な業績を挙げた故・白川静名誉教授（文化勲章受章者）の研究成果をもとに、広く社会一般を対象とした教育・普及活動を行うとともに、東洋文字文化研究の振興と高度化をはかることを目的としています。また、国内外とりわけ東アジアを中心とした地域へ「白川文字学」を発信し、東アジアにおける東洋文字文化研究の拠点化を目指しています。

研究所の主な活動

- 白川文字学および東洋文字文化に関する研究
- 叢書・紀要等による研究成果の発信
- 各種講演会・国際シンポジウム等の開催
- 立命館白川静記念東洋文字文化賞の授与
- 一般向け教育・普及活動（漢字教育士資格認定講座の実施・教材開発等）
- 白川文庫（平井嘉一郎図書館）への協力

白川静名誉教授について

白川静名誉教授は、日本と中国とが東アジア地域において文化的類型性を持つという広い視野に立ち、漢字の原義を字形学的に体系化し、中国および日本の古代文化について独創的な研究を築き上げました。その独自の学説は、世に「白川文字学」と称され、内外の学界から高い評価を得ました。白川静名誉教授の研究は、もともと日本の古代社会に対する関心に端を発し、比較研究の必要性から中国の古代に広がり、漢字文化圏全体に亘る壮大な研究に至りました。1998年11月に文化功労者として顕彰され、2004年11月には文化勲章を授与されました。



白川静名誉教授

白川フォントについて

「白川フォント」は、白川文字学に関わる研究や漢字教育などに広く活用されることを目的として、開発・公開しました。これまでコンピュータ上での利用が困難であった甲骨・金文などの古代文字を、一般的な文書作成ソフトで簡単に利用できるシステムです。実に4,000もの古代文字について、複数で一括変換されることが可能となったのです。



白川静記念東洋文字文化研究所のロゴにもなっている「サイ」の白川フォント。白川文字学の原点。

●ダウンロードはこちら

<http://www.ritsumeikan.ac.jp/acd/re/k-rsc/sio/shirakawa/index.html>



立命館大学白川静記念 東洋文字文化研究所HP



白川名誉教授の著書「字統」、「字訓」、「字通」

研究部門における主要目標

- 東洋文字文化研究の拠点化
- 研究対象地域と分野の拡大
- 研究対象時代の伸張と「大成」へ
- 若手研究者の育成
- 学外資金を活用した研究の高度化

重点プロジェクト・研究テーマ

- 中国の漢字を中心とする文字文化の発展・受容・展開に関する総合的研究
- 日中韓漢籍研究
- 日本文献研究

文化事業 白川研の文化事業活動は、白川静名誉教授の研究成果をその基礎とし、「東洋文字文化」に関する普及活動を進めるものであり、教育・出版や研究・普及事業への奨励などを行っています。

漢字教材の作成

白川研と立命館附属校教員による「白川式漢字学習法」の小学・中学生向けのワークシートを制作、2016年度から立命館附属校の授業への供用が始まり、「漢字教育研究会」も開催されました。また、福井県や草津市との協力による白川文字学による漢字教育の効果測定研究も実施しています。

「漢字探検隊」の実施

地方自治体や民間の文化教室等から招かれ一般向けの漢字講座を年間30回程度開催しています。中でも体験型漢字講座「漢字探検隊」は、全国で現在累計200回を超えるヒット事業となっています。

「漢字教育士資格認定講座」事業

2011年度から公益財団法人日本漢字能力検定協会との共同事業として「漢字教育士資格認定講座」事業を開始しました。後にウェブによる通信講座方式も加わり、現在約600名が漢字教育および白川学普及に尽力されています。また、俳優の武田鉄矢氏からも名誉漢字教育士として白川文字学の普及に協力していただいています。



研究所長：芳村 弘道（文学部 特任教授）

主な研究拠点：衣笠キャンパス

お問い合わせ：立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内 白川静記念東洋文字文化研究所事務局

TEL: 075-465-8306 FAX: 075-465-8342 E: ro-toyo@st.ritsumeikan.ac.jp <http://www.ritsumeikan.ac.jp/research/shirakawa/>

